

対策困難外来種防除計画策定調査費

平成29年度要求額
40百万円(40百万円)

背景・目的

外来種の中には、日本中に蔓延し、対策が難しい外来種（対策困難外来種）がいる。「生態系被害防止外来種リスト（平成27年3月）」において、緊急対策外来種に位置づけた**アカミミガメ**は、全都道府県に800万匹が定着していると推計され、在来種・生態系等への悪影響を引き起こしている対策困難外来種であり、当該種の対策を検討する。



アカミミガメ

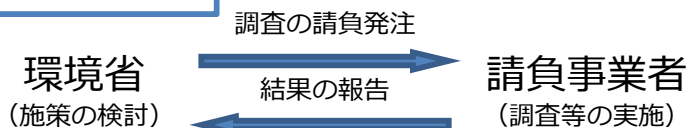
事業目的・概要等

事業概要

アカミミガメの対策の推進には、「**段階的な規制** →」、「**普及啓発等による遺棄の防止** →」、「**野外における防除及び防除後の管理** →」を総合的に実施することが重要である。

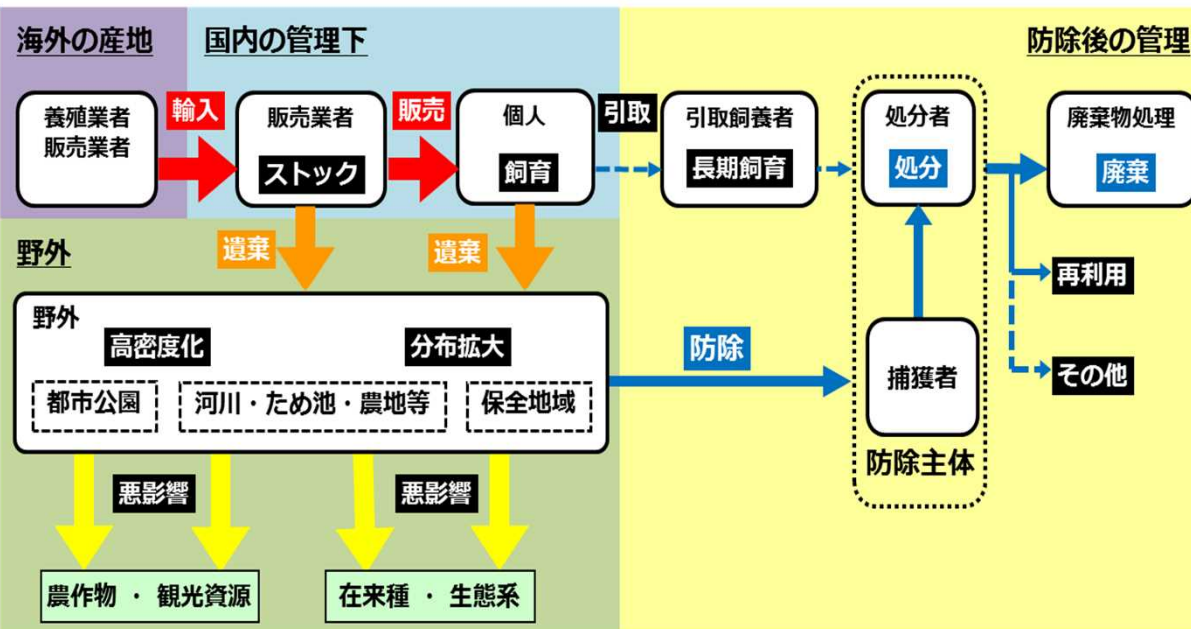
→の検討を中心に「**防除技術の確立**」、「**防除後の処分体制の構築**」等について、自然環境等の生息状況の区分毎のモデル事業を実施し、全国における防除の展開に向けた**全国計画を策定**する。

業務スキーム



イメージ

《アカミミガメを取り巻く現在の状況》



国、地方自治体、市民団体等の役割分担に応じた対策困難外来種の防除の全国展開

期待される効果

既に被害を受けている生態系を本来の生態系へと回復させ、我が国の生物多様性を保全する